



21.10.16 核心RTday

あらかじめ見て持って味わった RT

序	1.一生 やること	2.セッティング	3.サミット 味わい	ペテロ	初代教会	重職者	宣教	結 - 力 (エネルギー)
	1) サミット タイム - 深い時間	1) 福音 (創 1:27, 2:7, 2:1-18)	1) 24 (答え)	1. 信仰 告白	1. カルバリの丘	1. はじまり	1. 最初 (完成)	1. 肉体的な力 1) 運動 2) 読書 3) 勉強
	2) サミット道具 - 脳	2) 伝道 (御座、 時空、237光)	2) 25 (御国)	2. 逃亡	2. オリーブ山	2. 選択 (任職)	2. 地球上 初事件	2. 霊的な力 - 呼吸祈り
	3) サミット内容 - Trinity	3) タラント (空前絶後)	3) 永遠 (隠しておいたこと)	3. 復活	3. マルコの 屋上の間	3. 働き	3. いやし	3. 集中の力

ヨシュア10:10-14

10 主が彼らをイスラエルの前でかき乱したので、イスラエルはギブオンで彼らを激しく打ち殺し、ベテ・ホロンの上り坂を通過して彼らを追い、アゼカとマケダまで行って彼らを打った。

11 彼らがイスラエルの前から逃げて、ベテ・ホロンの下り坂にいた

とき、主は天から彼らの上に大きな石を降らし、アゼカに至るまでそうしたので、彼らは死んだ。イスラエル人が剣で殺した者よりも、雹の石で死んだ者のほうが多かった。

12 主がエモリ人をイスラエル人の前に渡したその日、ヨシュアは主に語り、イスラエルの見ている前で言った。「日よ。ギブオンの

上で動くな。月よ。アヤロンの谷で。」

13 民がその敵に復讐するまで、日は動かず、月はとどまった。これは、ヤシエルの書に記されているのではないか。こうして、日は天のまなかにとどまって、まる一日ほど出てくることを急がなかった。

14 主が人の声を聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦ったからである。

要約

レムナントの時は一つのことだけ分かれば成功するようになる。あらかじめ見て、持って、あらかじめ味わうレムナントだ。これを分かればレムナントは無条件に勝利するようになる。

序論

1. 一生やることを今、始めなければならない。

- 1) サミットタイムを持ちなさい。- 1日に一度、1週間に一度、深い時間を持つように。
- 2) サミット道具がなければならない。- 脳を生かすこと。そのゆえみことば、考え、祈りをする。深い時間に祈りながら5-10分、呼吸を長くすること。
- 3) サミットの内容が必要だ。- Trinity (みことばで臨まれる父なる神様、全てののろいからの解放、権威をくださるキリスト、今、力で働かれる聖霊なる神様。)

2. レムナントの時にいくつかのセッティングをしなければならない。

- 1) 福音がセッティングされなければならない。キリストの奥義が創1:27、2:7、2:1-18でセッティングされたということ。この福音が神のかたちの中に臨んだのだ。この福音が私にいのちのように、入ったのだ。それゆえ、いのちの力が生じる。これがレムナントの時にセッティングされたなら、多くの質問が必要なくなるのだ。
- 2) 伝道がセッティングされる。このときに御座の答え、時空超越

の答え、237か国に光の答えが続けてくる。

3) 前の2つがなされてこそ、タラントがセッティングされる。空前絶後のことがセッティングされたのだ。

▷ サミットタイムを持っていなかったの、福音、伝道、タラントのセッティングがなされないのだ。私の脳に力がないのだ。祈りで序論の一番を育てるのだ。

3. このときからサミットの味わいが出てくる。

- 1) サミットタイムを少ししたが24となる。全てのことに答えが見えるようになる。24が成り立たないのは、福音、伝道、タラントのセッティングがなされていないのだ。v
- 2) 25私にはできない答えが来る。神の国が見えるのだ。
- 3) 永遠ということを見るようになる。神様が隠されたことを私に知らせてくださる。

■ 本論_ 序論 1-3番の目をもって見なければならない。

1 あらかじめ味わったペテロ

1. 序論の祝福を味わった信仰告白をしたのだ。
2. そうしたのに、序論がセッティングされていず逃げ出した。
3. それでも大丈夫だ。キリストが尋ねて来られ、復活のメッセージを与えてくださった。

「天と地の、いっさいの権威を持ってあなたとともにいる。地の果てまで証人となる。わたしの小羊を飼いなさい。」そして、オリーブの山に呼ばれ、セッティングが成り立ちはじめた。マルコの屋上間で完全に答えを出したのだ。それで終わりだ。ある日、ペテロが変わったのだ。(使3:6、4:12)

2 初代教会

大きな迫害が来たが、何の関係もなかった。序論の内容がセッティングされていたからだ。

1. カルバリ山
2. オリーブ山
3. マルコの屋上の間

3 重職者

1. この重職者はマルコの屋上間で始まったのだ。
2. この中で使徒6章の人を選択し任職をしたのだ。
3. この人たちの働きを見てみなさい。7名が任職を受けたのだが、ステパノ、ピリポのみが名前が出てくる。序論が成り立った人には働きが起こる。

4 この人たちは宣教をあらかじめ味わった。

序論がセッティングされたレムナントの旅は、誰も妨げることができない。起こる全ての問題、葛藤、危機は全て答えだ。

1. 最初からマルコの屋上間で宣教の門が開いた。行く前に完全にセッティングが完成。答えで来たのだ。
2. アンテオケ教会と宣教師の派遣は地球上、最初の事件だった。
3. 地球上にないやしが起こった。誰もいやせないのに、神様の驚くべきみことばの働きによってやしが起こったのだ。

■ 結論_ レムナントは本論の内容ができる力(エネルギー)がなければならない。3つを必ずしなさい。

1. 肉的力量

- 1) 運動
- 2) 読書
- 3) 勉強

2. 霊的力量を育てなければならない。心、考え、魂、その間で一番集中ができるのが脳だ。宇宙、世界と通じる機能が脳にある。それゆえ、呼吸祈りをしなさいと言うのだ。

3. 集中する力を育てなければならない。集中呼吸の祈りをすれば良い。このときに、どんなことが起こるのか。

創1:3 創造の光が照らされる。これを受けると考えれば良い。

イザ60:1-2 回復の光が照らされるのだ。

1ペテ2:9 征服の光が照らされるのだ。

無条件に、レムナントは序論の3つをセッティングしなさい。本当に信じれば可能だ。レムナントの時にこれをするのであれば世界を征服するようになる。

全文打ち出し

映像で、オセアニアにいる教会の方々を見ることができて、とてもうれしいです。神様に感謝いたします。信徒の方々、また、長老さんや重職者の方々、宣教師さんやレムナントを見て、まるで本当に会ったかのようです。最高の答えがあることを願います。

レムナントの時に一つのことだけを分かるなら成功します。勉強ができなくても大丈夫です。1つのことを分かるなら勉強できない方がよいです。それが何でしょうか。勉強できるよりも、できない方がよいとは一体どういうことでしょうか。1つのことを分かるなら、そうです。

レムナントへ。あらかじめ見て、持って、味わったレムナントです。今日の以前にあらかじめ味わったレムナントです。これを知るなら、レムナントは無条件に勝利します。

■ 序論

1. 一生やること

そのため、レムナントたちは何をすべきなのか。一生やるべきことを今から始めなくてははいけません。一生すること

1) サミットタイムー深い時間

最初に、みなさんは今、サミットタイムを持たなくてははいけません。今から一生、やらなければなりません。

2) サミット道具ー脳

その次に、サミットタイムを持ってサミット道具がなければいけません。

3) サミット内容ーTrinity

そして、サミットの内容がなければいけないのです。これを今から始めることです。サミットタイムはレムナントが一日に一度くらい、いや、一週間に一度でも良いです。少し深い時間を持つのです。これだけ持ってもサミットになります。もしも、みなさんが毎日持つなら、このようにするなら、みなさんはもっとはやくサミットになります。

このサミットの道具は、みなさんが脳を生かすことです。これが道具です。とても重要です。ですから、みことば、考え、祈るのです。ところで、重要なことはサミットタイムを持つときに私たち

の身体に入ってくる酸素の内20%以上を脳が消費します。そのため、口でいっぱい話してたくさんしゃべると、脳が酸素不足になります。みなさんが、時間(サミットタイム)がなくて、あせれば、酸素が不足します。怒れば、酸素が不足します。そして、病気になって、ガンになれば酸素が不足します。そのため、深い時間に祈りながらみなさんが、ただ5分、10分でもこのように呼吸を長くしなくてははいけません。必ずしなくてははいけません。

そして、今は科学的に証明されたため、私が言います。今、アメリカと全世界の正しい病院では全てしています。今、遠い地方の遅れた病院ではしていませんが、ソウルを見てみるとソウルの大学病院やアサン病院など大きい所はすべてしています。アメリカの最高の病院アンダーソン病院では、完全にプログラムの中にあります。

サミットの内容です。これをするとき、みことばによって臨む父なる神様、全てののろいからの解放と権威をくださるキリストである子なる神様、今、聖霊で働かれる聖霊の働き。これがサミットの内容です。

レムナントの時に始めるなら、間違いなく勝利します。勉強ができない人は、簡単に言うと、入っていることが多くないので、大きな働きが起きます。入っている専門性が多いなら、多いほど福音と会わないなら苦しみに遭うでしょう。パウロが大きく用いられたのは、たくさん学びましたが、いつもこれがなにか足りないというのを知っていました。そこに福音がまさに入ったのです。そして、答えを出したのです。また、ムーディのような人は知っていることはあまりにもなかったのですが、福音の力が働いたのです。レムナントがこれ(序論1)をするなら、みなさんは間違いなく勝利します。テキストの内容は、みなさんはフォーラムすれば良いです。けれども、一番重要なことは今すべきことを知らなくてははいけないということです。

2.セッティング

なぜなら、レムナントはいくつかセッティングをしなくてははいけません。必ずしなければはいけません。

1) 福音(創1:27、創2:7、創2:1-8)

これが何かと言いますと、みなさんは今これ(序論1)をしなが

ら、福音がセッティングされなくてははいけないのです。福音がセッティングされたということは、ただの言葉ではありません。福音がセッティングされたという言葉は、キリストのこの奥義がここ(創1:27、創2:7、創2:1-8)にセッティングされたということです。ものすごい事です。福音がここにセッティングされ、私の中に、かたち、神のかたちが臨んだのです。この福音が私に命のように入ってきたのです。だから、生命力が生まれるのです。

では今、レムナントの時にセッティングされるなら、間違いなくみなさんは多くの質問をしなくなるでしょう。これに分かるならば、みなさんが「祈りはどうすれば良いですか」という質問をしなくても良いでしょう。みなさんが一番質問するのは「私はどうして上手くいきませんか」や「あの崩れたレムナントはどうすればよいですか」このような質問は全て解決されます。それだけではありません。

2) 伝道(御座、時空、237光)

みなさんは今から少しでもするなら、伝道がセッティングされます。これを、今すべきなのです。このときに臨むことが続けます。伝道がセッティングされたために、御座の答え、時空超越の答え、237か国の光の答え、続けます。勉強ができるでしょうか。できないでしょうか。質問する必要ありません。健康になるでしょうか。ならないでしょうか。これも質問する必要がありません。なぜなら、これ(御座、時空、237光)が続けて来るので。この(序論1)の時間を持たなかったために、これ(御座、時空、237光)のセッティングができないのです。私の頭に今、力がなくて。これ(序論1)を育てなくてははいけません。祈りで育てるのです。とても重要です。

3) タラント(空前絶後)(御座、時空、237光)

では、ついには、みなさんがこの2つ(序論2、1)福音、2)伝道)が成り立ってこそタラントがセッティングされるのです。タラントがセッティングされたということは、空前絶後のことがセッティングされたのです。

3.サミットの味わい

この時から、サミットの味わいが出てきます。それは何でしょうか。

1) 24(答え)

これ(序論1)を少ししたら、24が成り立ちます。ヨセフはお母さんに会いたくて少し祈っただけなのに24になりました。ダビデは羊飼いでありながら、これ(序論1)を祈ったら24になったのです。どういうことだか、分かりますね。

私たち大人も同じです。みなさんがこの部分(サミットの味わい)ができなくては、これ(序論2)は成り立たないのです。それで、他のことをずっとやればやるほど苦労します。しばらくは、できるかのような希望はあるでしょう。その希望のゆえに生きているでしょう。また、ダメになったら違う希望を持つでしょう。その希望によって生きようになるでしょう。これがだまされているのです。これが、未信者の与えるプレゼントです。つまり、サタンの与えるプレゼントなのです。サタンのプレゼントをもって生きようとしていますか。このセッティング(序論2)ができていないのです。レムナントの時にできなくてははいけません。レムナントができるなら無条件に成功します。

今サムエルが一度体験をしたら、このようなこと(序論)が起きました。そうですね。これが成り立つなら、どのようなことが起きますか。24が成り立つので、全てにおいてこれから答えが見えます。

2) 25(御国)

その次にこれが出てきます。ついに何でしょうか。私ができないことが来ます。神の国、これが見えるのです。これがついに。

3) 永遠(隠しておいたこと)

ついに永遠ということを見るようになります。この永遠ということを見るようになるので、何が出てきますか。神様が隠しておいたことを私に教えてくださるのです。ここまでが、終わりです。

では、これだけを見つけ出すなら、聖書の勉強をしてもしなくても同じです。聖書の勉強を死ぬほどやったのに、伝道もできず、答えもありません。なぜ、そのような時間浪費をしますか。お願いですから、絶対にだまされないでください。してください。これが答えです。

■ 本論

1 (あらかじめ味わった) ペテロ

これをもって最初の聖日に、あらかじめ味わったペテロを見ることができます。この目(序論)をもって見なくてはなりません。では、ペテロは、この祝福(序論)を味わう信仰告白をしたのです。そうでしょう。

1. 信仰告白

ものすごい信仰告白をして、答えを受けたのにもかかわらずダメでした。それを言っているのです。なぜそうでしたか。これ(序論)がセッティングされていなかったのです。

2. 逃亡

そのために、逃げたのです。信仰告白しておいて逃げたのです。レムナントが逃げても大丈夫です。キリストが尋ねて来られるはず。尋ねて来てメッセージをくださいました。

3. 復活

復活メッセージをくださいました。「天と地のいっさいの権威を持って、あなたとともにいる。地の果てにまで証人となる。わたしの小羊を飼いなさい。」と言われて、オリーブの山に呼ばれたのです。オリーブの山でセッティング(序論2)が成り立ち始めました。マルコの屋上で完全に答えを下ろしました。それで終わり。ある日、ペテロが変わったのです。足のなえた人を見て「ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」ある日、法廷で「天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないのです。」パリサイ人たちが驚きました。そうでしょう。パリサイ人が何と言いましたか。「あれは、ペテロではないのか。以前は魚を釣っていた人ではないのか。」と言いました。レムナントは必ず記憶しなくてははいけません。

2 (あらかじめ味わった) 初代教会

では、この目(序論)で初代教会を見てください。ものすごい迫害が来しました。でも、何の関係ありません。これ(序論)が、すでにセッティングされていました。何がでしょうか。

1. カルバリの丘

2. オリーブの山

3. マルコの屋上の間

では、聖日にフォーラムをしてみてください。フォーラムをするときには聖書を詳しく開いてみて読んでください。するとセッティングされます。このようになります。

聖日に先生と子どもたちとするときに、この部分(序論)を知っているなら、みことばを一つ一つ聖日に読んでみてください。一緒に。私の場合は聖日に教会ではしません。土曜日に家に呼ぶなり、聖日に家に呼ぶなりします。聖日に教会で、他の時間にするなり、余裕をもって子どもたちの中に入っていかななくてははいけません。適当に教会でうるさい中でやったりするなら、それは無駄なことです。

私は昔、何回も話しましたが、みなさんが悟るようと、青年たちを連れて行って朝の時間を完全に無くして、青年たちが夜にいくらでも話してフォーラムしなさいと。集まってどんなに良いでしょうか。集まったので話したりして。これを無理に寝かす必要があるでしょうか。「十分に話しなさい。朝の早天もないよ。朝ごはんも食べなくてよい。ただ楽にして。ただ、朝、起きたなら、この外の良い水の流れとかに行ってお昨日読んだみことばや、聞いたみことばを、聖書を開いてみなさい」ものすごい事が起きます。これが起こるのです。このとき3つ(序論)がこのように作られるなら、本当に違います。

3 (あらかじめ味わった) 重職者

このときに出てきた重職者を見てください。このような重職者が出なくてははいけません。

1. 始まり

このような重職者が出てきたので、この人たちは、すでにどこから始まったのですか。マルコの屋上の間から始まりました。詳しく聖書を一度見てみてください。

2. 選択(任職)

その中で使徒の働き6章で選んで任職をしたのです。

3. 働き

そして、この人たちの働きを見てください。この中で驚くべきことが起こりました。ここに2つの種類が出てきます。7人が任職され

ましたが、この内の2人の名前だけが出てきます。ステパノやピリピのような人はよく出てきますが、他の人はあまり出てきません。これを見ると昔も今も同じです。これ(序論)ができた人は働きが起こるのです。

4 (あらかじめ味わった) 宣教

では、この人たちは宣教をしたのではなく、宣教をあらかじめ味わったのです。この答え(序論)があるなら、あらかじめ見えるようになります。人々は悟れないために、更新させるのが大変です。問題はありません。更新が早くできないことも、神様のものすごい計画が入っています。大丈夫です。レムナントたちは大人を見て落胆する必要はありません。どうでもいいことで時間を送る人も多いですが、その人の損であって、神様の計画には何の支障もありません。そうでしょう。イスカリオテのユダのような人が出るなら、その人の損であって、働きには何の支障もありません、アナニアやサッピラのような人も出てきます。それを見て、試みにあう必要はありません。その人の損であって、神様の計画は正確に成し遂げられます。これ(序論)がセッティングされたレムナントの旅程を誰も妨げることはできません。起こる全ての問題、葛藤、危機はすべて答えです。必ず覚えなくてははいけません。

1. 始まり(完成)

だから、始まりと言えます。最初からマルコの屋上の間に宣教の門が開いたのです。それを一度見てみてください。すでに宣教地に行く前に、ものすごく重要なことです。行く前に完全にセッティング、完成、答え、全てできたのです。私たちは今、これ(序論)ができなければ、また、それができていませんね。

2. 地球上で初の事件

地球ができて初めてで、ある面では最後です。最後になってしまおうとだめでしょう。地球上の初の事件になったのです。どんなことが起こりましたか。みなさん、これがアンテオケ教会と宣教師を派遣する、こういうことを見てください。今。

3. いやし

地球上にないいやしが起きました。これは3団体も治せないし、医師も治せないし神様の驚くべき働きが、みことばの働きで起きて

しまうのです。

レムナントは必ず覚えてください。特にオセアニアにいるレムナントは必ず覚えなくてはなりません。どんなことばも聞かないでください。始めてください。時間が無くても大丈夫です。これは誰かが助ける必要ありません。ただ、してください。

みなさん、これ（序論）がセッティングされるなら、教会がいかに重要か分かるようになるでしょう。その以前は分かりません。それ以前は、教会に行っても行かなくてもよい。このような信仰人はどんなに損でしょうか。みなさんがセッティングされると、重職者となったことがどんなに重要なことかを知るようになるでしょう。なぜならば、この答え(3課:重職者)が来るので。けれども、これがセッティングされないと、重職者になってもいいし、しなくてもいいし。これぐらい悔しいことが他にありますか。みなさん、お金を全部詐欺師に取られたら悔しいではないですか。それよりもっと重要なことを全て奪われてしまいました。

みなさん、本当に能力のある人はお金を詐欺にあったことを少しも悔しがりません。私は本当に少しタラッパンに損害が出た。私は全く関係ありません。なぜでしょう。確信しています。変なことさえしなければ、これからも働きが起きます。そうでしょう。問題になることはありません。本当に能力のある人は、誰かが自分のお金をくれない。「大丈夫。そのままです」そうでしょう。能力のない人にとっては、これは大事です。返しなさいと、行ってけんかしたり殺したりします。これ（序論）を知らない、能力のない証拠です。レムナントはこうなってはいけません。

レムナントはこれから社会に出て行って、未信者と同じ水準になって未信者の下でいつもお使いをして…それは違いますね。一生懸命勉強して、レムナントがサタンの使いだけして…。これは違います。なぜこうになってしまうのかと言うと、知りながらも上手いかわからないのは、これ（序論）がセッティングされていなかったから。この時間を持ってください。

■結論—力

レムナントはこれ（本論）のできる力がないといけません。そのエネルギーがなくてははいけません。これが必ず無くてはいけま

せん。では、今からレムナントは3つを必ずしてください。

1. 肉的な能力

肉的な力です。肉的な力はみなさんがよくご存じの…。

- 1) 運動
- 2) 読書
- 3) 勉強

申し訳ありませんが、これらは全て肉的なことです。勉強がすべてだと思いますが違います。それは、始まりは肉的なことです。当然すべきことです。

私は、今日は雨が降っているので、できませんでしたが、私は朝に必ず運動をします。必ず走ります。必要ならば夜にも。特別に夜に食事する予定が無ければ夜には運動をします。そして、私の傍にはいつも開いている本があります。なぜなら、時間がないために読んで、開いたままにして。そのため、本をはやく読む技術が無ければいけません。はやく読むためには、全てを読む必要はありません。そうでしょう。すべてを見ないようにするなら、重要な箇所を選んで見ることができなくてははいけません。精読すべき本は別にあります。そうしながら、みなさんが一番できない勉強、その時間にしてください。短くても集中するのです。それが積み重なると大変大きいです。すでにみなさんがこのセッティング（序論）ができていたので完全に変わります。

2. 霊的な力—呼吸祈り

2つ目のことをしてください。どちらにせよ、みなさんは勝利します。今、みなさんは肉的な力だけを育ててはいけません。霊的な力を育てなくてははいけません。そのため、心、考え、たましい、その間で一番集中できるのが脳です。そうでしょう。心・考え・たましいを集中できるところが足の指ではなく脳です。レムナントのみなさん。必ず覚えてください。みなさんのあらゆる事を、宇宙と通じて世界と通じる機能が、指や足の指にあるのではないということです。脳にあります。それゆえ、呼吸祈り、しなさいと言うのです。重要です。今から育てなくてはなりません。

3. 集中力

そして、一日に1つでもよいですし、問題が起きるときごとにでも大丈夫です。単純な霊的な力ではなく集中する力を育てなくてははいけません。これは、これ（呼吸祈り）を集中すれば良いのです。呼吸祈りを。集中呼吸祈りをすれば良いのです。このようにして、レムナントたちはエネルギー、力を育ててください。

創1:3

このときに、どのようなことが起きるので、このようにしますか。創造の光が照らされるのです。これを受けると考えれば良いです。

イザ60:1-2

回復の光が照らされます。「起きよ。光を放て。」

1ペテ2:9

征服の光です。これを照らすのです。

では、これができないまま、みなさんは毎週、学院福音化のテキストをただ流してします。先生方に会う前にレムナントたちはこのテキストを持っています。これ（序論）、この祝福（序論）を味わっている人がこれ（本論）を一人で見るようになるのです。それができると、先生たちと一緒に、また友だちたちと一緒に、ものすごいフォーラムができます。すると、私の生涯に、私の脳に、たましいにメモするしかない答えが出てきます。記録するようになります。そして、実際に私はメモをしています。このようにならなくてははいけません。

私は以前お話ししました。胸にポケットのない服は絶対に着ません。あるなら、他の人にあげたり、捨てたりしています。なぜなら、私が祈る中で思い浮かんだことをメモするのが大変になるからです。ポケットがないと。とても重要な答えがたくさん来るため、書かないと通り過ぎてしまい正確な悟りが出てきません。

無条件にレムナントは、これ（序論）をセッティングしなさい。なぜこれができないのか。あまりにも簡単な道だからできません。死ぬほど勉強しなさいと言えはするの、これ（序論）はそうではありません。これ（序論）はみなさんの信仰だけあれば可能なのです。本当に信じるなら可能なのです。その通りだという事。本当に信じるなら起こるのです。

では、よく考えてみてください。本当にこれ（序論）でなくては

いけません。私はこれ（序論）でなくてはだめだ。ではなく、他のものは必要ない。必要がないのです。意味がないのです。どの程度かと言いますと、みなさんが言っていることすべてどうでも良いことです。全て聞いてあげますが、耳には入れません。そのため「最近、先生は記憶力がない気がする」違います。聞いていません。この祈らない人は、こういうことを言います。「先生。最近物忘れがひどいようです。話されているのを見ると…」ちがいます。聞いていないのです。そのため、失礼なことをしてしまいます。こうなると、どんなに価値がなくても相手はそう思っていないので。そのため最近、このように秘書たちがついてきて全て書いています。私が後で聞いてみます。そのときに、私にどうでしょうかと尋ねられて、答えてあげて。これには別に意味はありません。必ずレムナントたちは覚えてください。

ですから、全ての人にオッケイOKすれば良いです。これ（序論）を逃してはなりません。レムナントは多くの問題が来たなら譲ってあげなさい。これ（序論）を逃してはなりません。レムナントは葛藤が生じたら譲ってあげなさい。そしてこれ（序論）を逃してはなりません。分かりましたか。特に重職者のみなさんは残りがあまり長くないです。簡単です。この答え（序論）を味わってください。レムナントの時にするなら、世界を征服するということです。祈ります。

祈り

神様に感謝いたします。レムナントデイに神様のことを悟らせてくださり感謝いたします。レムナントたちが深く考え、本当に味わうことができますように。何も思い煩わずに勝利するレムナントとして立ててください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。